

# 学級通信

新潟市立新潟柳都中学校

## 一人一人が活躍できる社会を目指して

先日の道徳の授業で、「一人一人が活躍できる社会を目指して」どうすれば良いか考えました。ここでは特に「男女平等」に焦点を当てました。最初の質問は①「男性は優遇されている。」これについて「はい」「いいえ」に分かれて意見交換をしました。保護者のみなさんはどちらの意見が多かったと思いますか？2組の意見は5対23の圧倒的多数で「いいえ」でした。「男性は優遇されていない」ということです。現代社会を生きる令和の中学生はこのように感じています。

では、「令和の社会人はどのように感じているのでしょうか？」ということで次の資料を提案しました。

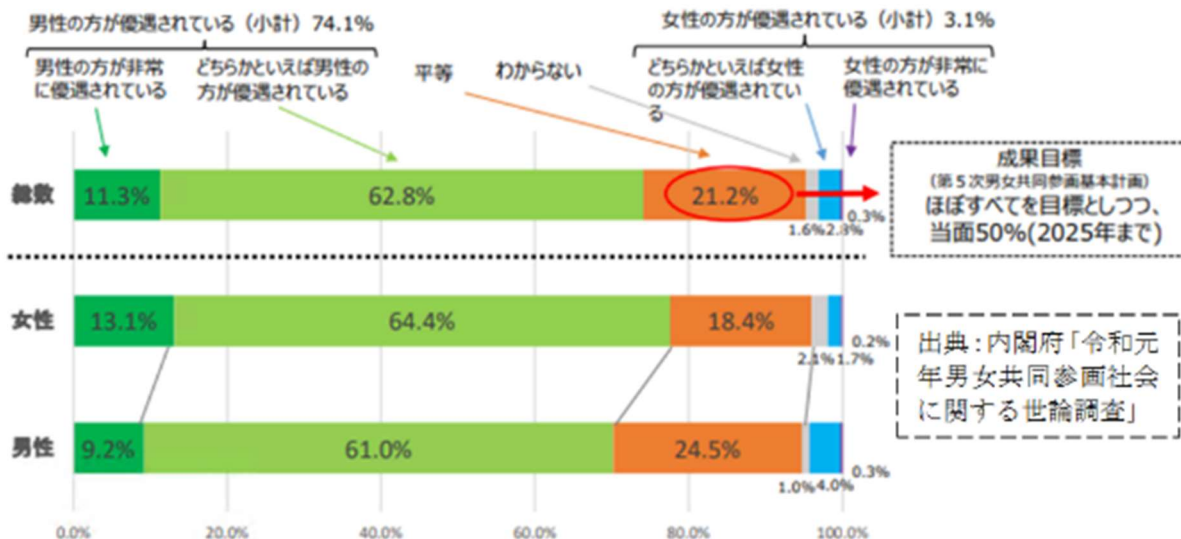


テスト前、学習会。  
みんな頑張っている。

### 男女の地位の平等感

- ・男女の地位は平等になっていると思うか聞いたところ、社会全体でみた場合には、「平等」と答えた者の割合が21.2%、「男性の方が優遇されている」とする者の割合が74.1%（「男性の方が非常に優遇されている」11.3%+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」62.8%）となっている。
- ・各分野については、「平等」と答えた者の割合が、「学校教育の場」で61.2%、「自治会やPTAなどの地域活動の場」で46.5%、「家庭生活」で45.5%、「法律や制度の上」で39.7%、「職場」で30.7%、「社会通念・慣習・しきたりなど」で22.6%、「政治の場」で14.4%。

#### 社会全体における男女の地位の平等感



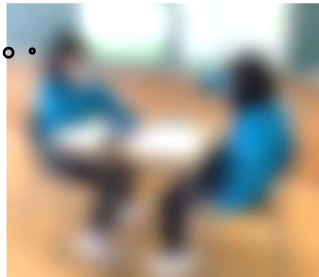
2組のみなさんの感じ方とは少しギャップがあるようです。そこで、iPadを使って現状を調べたり、今知っている知識を用いたりして、質問②「なぜ男性が優位と感じるのだろうか？」

選挙：女性より男性の方が多から。議員の比率。 婚姻：姓名変更は女性が多い。  
賃金：調べた結果の数字に差があった。 役職：社長など偉い人は男性が多い。  
スポーツ：男性スポーツの方が多く取り上げられる。 家事と育児：ほとんど女性がやっている。仕事は1日、家事、育児は24時間365日。

最近社会では、議員や要職に男性が多いと、女性目線の意見や発想が少なくなり偏りが生じることもあると言われていていますね。これらの意見、どのように受け止めますか？と投げかけた後、質問③「なぜこうなるのだろうか？」

出産って女性しかできないよね…という意見も。

女性が能力を発揮できる環境が十分ではない。  
社会通念、慣習、しきたりなどが根強い。当たり前になっている。



お昼休み、学習室。  
目標に向かって。

中学生なりに考えたり調べたりしながら意見をまとめました。中学校では男女問わず一生懸命目標に向かって努力し、力を高めています。しかし、社会に出て「女子だから」「慣例だから」とこのような状況の当事者になったらどうでしょう？そこで質問④「これから私たちはどうしていけば良いだろうか？」男女共同参画とはなにか、それを進めるための基本となる6つの考え方は次の通りです。

一人一人を尊重する。 個人の能力に合った環境にする。 慣習やしきたりだけで決めつけない。 周囲（自分たち以外）にもこういうことについて意識をもってほしい。当事者がこういうことを言うのはやりづらい。違う立場の人が知って、声を出してほしい。

保護者のみなさんはどのようにお感じでしょうか？是非、ご家庭で話題にして頂けたらと思います。

新潟市男女共同参画推進条例リーフレットより

男女共同参画社会とは、「男女がお互いを尊重し合い、職場、学校、家庭、地域などの社会のあらゆる分野で、性別に関わらず個性と能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合うことができる社会のことです。そのために・・・

- 1、男女の人権の尊重  
男女が共に尊重され、それぞれの能力が発揮できるようにしよう。
- 2、社会制度・慣行についての配慮  
性別により役割分担を決めてしまう考え方にもとづく社会の制度や慣行にしばられることなく、それぞれの個性を尊重し、様々な生き方が選べるようにしよう。
- 3、政策や方針決定の場への男女共同参画  
男女が社会の対等なパートナーとして様々方針決定の場へ参画できるようにしよう。
- 4、家庭生活と社会生活との両立  
男女が、家庭と職場、地域などの活動を両立できるよう、互いに協力し責任を分かち合おう。
- 5、男女の健康と権利  
男女が、お互いの性について理解を深め、生涯に渡り健康に生活できるよう尊重し合う。
- 6、国際協調  
国際的な動きを理解し、協調しながら男女共同参画推進に取り組みましょう。